



ベルーフ 事務所通信

発行：〒 542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 4丁目 1番 20号 税理士法人ベルーフ 06-6253-5885

税理士法人ベルーフ設立のご案内

上田税理士事務所および金澤会計事務所は平成 20年 10月 1日より合併し、税理士法人ベルーフを設立いたしました。
代表社員であります上田兵二および金澤清資より、関与先の皆様にご挨拶申し上げます。



関与先の皆様へ

わが国は、少子・高齢化の進展、企業活動のグローバル化や金融・経済のグローバル化、企業の淘汰や再編成、世界的な会計基準の統一など、社会・経済環境が激変しています。
各企業経営者は、一層の競争力強化が求められるようになってまいりました。それには迅速な情報のキャッチアップや正しい経営判断、アドバイザーの存在が不可欠です。
この度、わたしどもはお客様企業が多様化、高度化するニーズにお応えするため、税理士法人を設立しました。税理士・職員の英知を結集し、ノウハウを組織として蓄積し、提携先とのコラボレーションを図り、ワンストップサービスを目指します。今後ともご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

上田兵二



関与先の皆様へ

この度上田兵二先生と合併し、税理士法人ベルーフの代表社員になりました金澤清資です。
私達は関与先の持続的発展と防衛、及び当法人に所属する従業員の雇用安定のために法人を設立しました。
税理士登録をしてから早 10年、気が付けばそれなりの年齢になっており、この先 10年のことを考えたとき、自然とお互いに合意して法人を設立しようということになりました。
今後とも職業会計人として研鑽して参りますので、ご貢献賜りますようお願い申し上げます。

金澤清資

名称：税理士法人ベルーフ
代表社員：上田 兵二 (うえだ ひょうじ) 金澤 清資 (かなざわ きよし)
住所：〒 542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 4-11-20心齋橋アルテビル4階
電話番号：06-6253-5885 F A X：06-6253-7557
Web：http://www.zh-beruf.com
E-mail：info@zh-beruf.com

スタッフブログ「ほっと一息」：担当 齋藤 然 (さいとう しかる)

『ウサギとの闘い』

こんにちは！齋藤です。
初めて職員ブログを書かせてもらいます！！



最近、夜は少し冷える日もありますが、過ごしやすいく日々が続いていますね。
この季節、我が家のウサギも過ごしやすいくように、夏にダラッとしていたのが嘘のように活動的になります。

私が疲れて仕事から帰ってウサギを部屋に出さずにいると、ベランダに置いてあるケージから「ガサガサ、ガサガサ」とケージの柵に前足を掛けて齧りつき音を立てて、存在をアピールします。泣く泣く部屋に放すと、ウサギはケージから飛び出し部屋のお気に入りか場所で毛づくろいをして一休み。そして、部屋を一回りしてまた一休み。その後、撫でてもらうに座っている人に寄ってくる。撫でないでいると、床に置いてある手に小さな頭を擦り付けて「撫でろ！」と催促します。

平成 14年 9月、天神橋六丁目のペットショップから1Kのマンションの我が家に連れて帰りました。今はもう、その時の気持ちは覚えていませんが、きっとひとり暮らしにも飽きて家に帰って待っている愛犬、そんなイメージだったと思います。ウサギを同居人にすべく、部屋に放し飼いをするため部屋の一角にケージを置きました。

まず一番重要視したのはトイレの躰です。ウサギは草食のため糞は臭いがしないのですが、同じ空間で生活するのに部屋でされては大変です。運良く我が家のウサギは早くからほぼ完璧にマスターしていました。「ほぼ完璧」というのは、初めて欠伸をしながら伸びた時に尻をコロコロした糞を部屋にポトリとした事、なぜか私のビジネス鞆の上にはびこさい方をした事、この2回被害を受けているからです。

次に、餌は色々なものを与えるようにしました。当時、会社から帰って毎日自炊していたので、その時に野菜の残りやクズを与えていました。人間の食べ物やお菓子は与えず、野菜以外は干し草を与えました。特に干し草は、チモシーやアルファルファなどの種類があり、ウサギの体調管理に非常に大切な食物ということで、餌には欠かしていませんでした。

子供の頃、実家で飼っていた猫が両親と一緒に寝るほど懐いていたのが羨ましかったので、ウサギと一緒に寝ようとしたのですが、3日で断念しました。

電気を消して布団に入って寝ていると、布団の周りをウサギが駆け回り、顔の上をジャンプ！布団を穿っては駆け回り、眠れない日々が続いたからです。

後々調べて、ウサギは襲われる動物なので、猫のようにゆっくりと寝るのではなく、短い時間で何回も寝ること、また、ペットウサギは穴ウサギの改良種で穴を掘る習性があることを知り、納得しました。

兎にも角にも、会社からの帰りが遅くなるうちは、マンションに帰っては目の前のウサギの行動を見て飼育書を開き、彼女と「ヤーヤー言いながら毎日を楽しんでおりました。

ウサギが来て約 2週間後、私は顔が熱っぽくなり痒くなるようになってまいりました。不思議に思っていた矢先、明け方 5時頃に呼吸が思うようできず目が覚めました。こんな経験は初めてで、死ぬかもしれないと思いながら息も絶え絶え朝が来るのを待ち、朝一番で会社に電話を入れて病院に行き診察を受けたところ、医師から驚きの一言が！！

「ウサギアレルギーです。干し草にもアレルギー反応が出ますね。ウサギを遠くにやいなさい。」

これ以降、ウサギのケージをベランダに置くようになりました。何度か、もう大丈夫だろうと思っただけでウサギと一緒に寝る事に挑戦したのですが、毎回喘息が起こりました。結果、会社から帰って来て、私が部屋に居る時だけウサギを部屋に放し、私が寝るときにはケージに帰ってもらい、ベランダにケージを置くかたじけなくなりました。ウサギには可哀そうだけど・・・

ウサギが我が家に来て6年経ちました。ウサギアレルギーによる喘息で一時は趣味のサッカーが出来なくなり、本気でウサギを近くの公園に放そうと思ったこともありました。携帯を充電しようとしたらコートが噛み切られていることもありました。部屋の壁の一部が齧られ削れています。ウサギに噛み切られた服は数えきれません。今も、換毛期にウサギを部屋に放すと喘鳴が起こります。ウサギを飼って以降、お酒を飲んで煙草を吸ってカラオケに行くと必ず風邪を引きます。名前を呼んでもこっちは来ません。ウサギ自身が撫でてもらう時にびびってこっちは寄ってきます。

でもなぜか、手放すことができません。ウサギの寿命は5~10年。飼いはじめた頃、友人に「そのウサギは幸せなん？」と聞かれました。時折この言葉を思い出して、ウサギと一緒に過ごす時間や回数について考えます。どうも、最近疲れているやっつけコロコロしたを言い訳に、ウサギを部屋に放す回数が減っています。これでは駄目だと思い、ウサギを部屋に放した後で、ヒューヒューと喘鳴が起こる今日この頃です。